

京都の 公共交通体系 への提言

地下鉄、JR・私鉄と市バス
の有機的結節を目指して

平成13年1月

社団法人 京都経済同友会
京都・都市活性化委員会

はじめに

私たち社団法人京都経済同友会におきましては、これまで事あるごとに京都が抱えるさまざまな「都市問題」、さらには、その「活性化方策」について提言活動を行ってまいりました。

特に平成10年からは『京都・都市活性化委員会』を立ち上げ、街路樹や舗道、さらには電線、電柱、自動販売機、看板等の都市景観に関わる問題、そして鉄道、バス、乗用車、駐車場のあり方を含む総合交通体系に関わる問題等について論議を深め、そのいくつかは京都市当局に直接提案いたしてまいりました。

今回の『京都の公共交通体系への提言——地下鉄、JR・私鉄と市バスの有機的結節を目指して』は、こうした中で京都の公共交通のあり方、中でも二次交通としての市バスのより有効な活用策に焦点を絞って提言としてまとめたものでございます。詳細は以下、本文をご一読のうえ、ご賛同、ご支援いただければ誠に幸甚に存じます。



循環バス路線イメージ図

平成13年 1 月

京都・都市活性化委員会
委員長 平井 義久

京都の 公共交通体系 への提言

地下鉄、JR・私鉄と市バス
の有機的結節を目指して

京都の交通事情と道路事情の悪さは、京都市の「21世紀・京都のグランドビジョン」（中間報告／平成9年4月）の中にも示されるとおり、日本を代表する“文化観光都市・京都”にとっての一つの泣きどころとなっている。

京都にあっては東海道本線や山陰線、奈良線等のJRをはじめ、近鉄、阪急、京阪、京福、叡山の各鉄道が市内各所に乗り入れている。また、京都市営の地下鉄が烏丸御池にて「南北」、「東西」両方面に交差するかたちで開通し、その利便性は飛躍的に向上するところとなった。

にもかかわらず、何故に京都の道路・交通事情は外来の観光客、そして市民の評判が悪いのか。その原因はただ一つ、せっかくの持てる交通機関がうまくリンクされていず、十分に活用されていないことにある。

この結果、市民、観光客にとって、現在の京都における公共交通機関はまず第一に乗り継ぎの面で大変不便なものとなっていることがある。南北・東西に走る二本の地下鉄の開通でJR、その他私鉄との結節があ

る程度改善されたものの、地下鉄による大環状構想が実現されない今日においては、その結節効果はまだまだ十分とはいえない状況にある。

第二に、地下鉄と並んで公共交通の基軸である市バスの運行路線形態があまりにも複雑すぎて、観光客はもとより市民にもわかりにくく、利用しにくいものとなっていることがある。これは、市内各方面から“乗り換えなし”で河原町、京都駅などの市内中心部に向かう従来の放射状型路線編成を尊重した結果によるものだろう。

京都市営の地下鉄が開通した現在、二次交通としての市バスについては、地下鉄と市内各所に乗り入れるその他の鉄軌道をシンプルに、そして有機的に結びつけるより効率的なバス運行がなされるべきである。

私も京都経済同友会にあっては、京都市民と、京都を訪れる外来客にとって、京都の公共交通のシステムがわかりやすく使いやすいものとなるよう特に今回は、「市バスのあり方」に絞って以下の提言を行うものである。

提言 1 総合交通体系の中での 市バスの抜本的、戦略的活用

(1)地下鉄を中心に、市街地中心部のJR、私鉄各線の主要ターミナルを繋ぎあわせる交通手段があれば京都の公共交通はわかりやすく、使いやすいものになるだろう。市バスをターミナルとターミナルの繋ぎあわせの交通手段として有効活用すべきである。

(2)その場合、郊外各所から乗り換えなしで河原町、京都駅方面に向かう現在の放射状型路線運行形態を抜本的に改め、後に述べる「循環バス」も含めて地下鉄、その他鉄軌道の主要ターミナルで“乗り換え”を前提とするシンプルな運行形態にする。

現在の市バスは路線が多岐にわたり、かつ各停留所が分散していることが路線を複雑化させ、利用しにくい状況をつくっている。あわせて市内中心部においては、いくつもの系統の市バスが同じ通りを走るため、時にはダンゴ運転、交通渋滞の要因にもなっている。利用客はいつ来るのかわからないバス待ちにイライラ現象を起こし、このことが通勤やビジネスにもマイカーを利用する原因となり、さらに市内の交通渋滞を加速させることにも繋がっている。

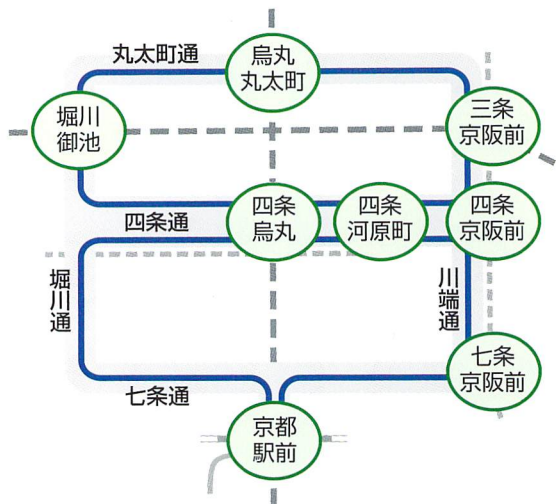
2 市内における「小循環」、「中循環」、「大循環」バス路線の新設

地下鉄を中心に既存のJR、私鉄各線の主要ターミナルを繋ぐかたちで新たに以下の「循環バス路線」を

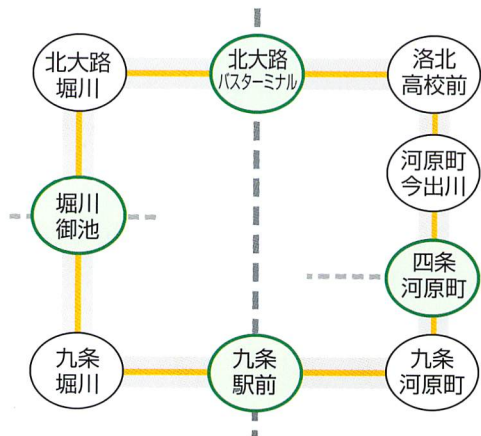
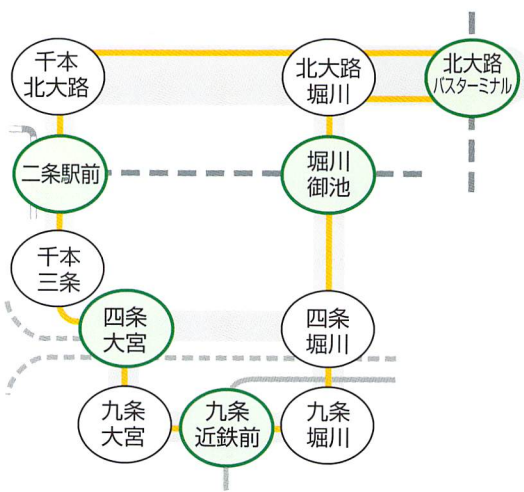
新設、整備する。

○ は、JR、私鉄、地下鉄との結節点

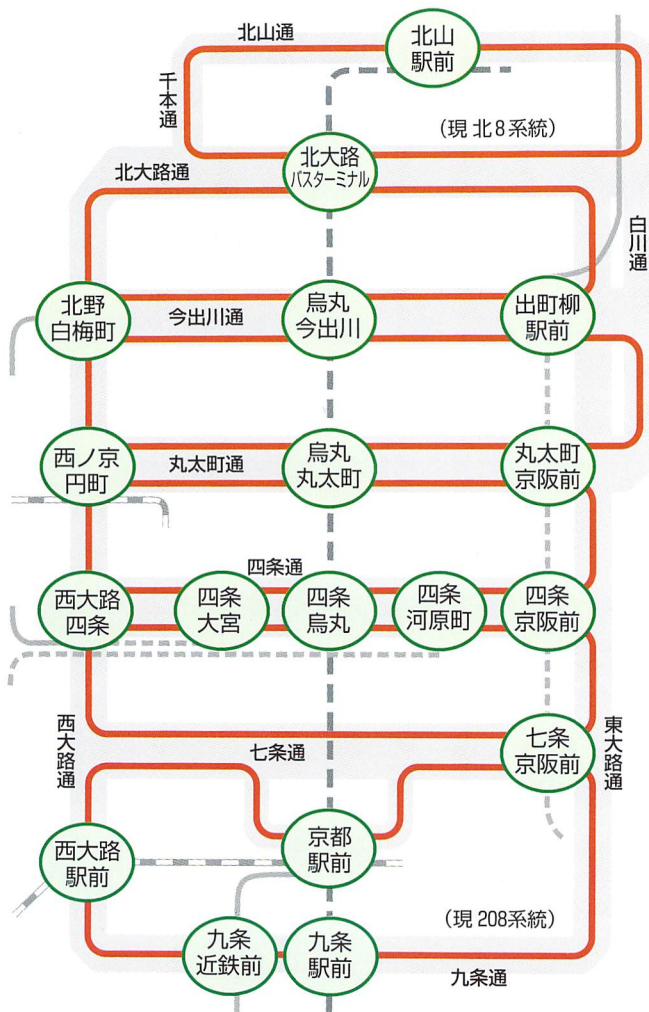
小循環バス路線



中循環バス路線 ▶ 南北ルート



中循環バス路線 ▶ 東西ルート



小循環バス路線

- 四条通 ▶ 川端通 ▶ 丸太町通 ▶ 堀川通
- 四条通 ▶ 川端通 ▶ 七条通 ▶ 京都駅前 ▶ 七条通 ▶ 堀川通

中循環バス路線 (南北ルート)

- 北大路バスターミナル ▶ 千本北大路 ▶ 二条駅前 ▶ 千本三条 ▶ 四条大宮 ▶ 九条大宮 ▶ 九条近鉄前 ▶ 九条堀川 ▶ 四条堀川 ▶ 堀川御池 ▶ 北大路堀川
- 北大路バスターミナル ▶ 北大路堀川 ▶ 堀川御池 ▶ 九条堀川 ▶ 九条駅前 ▶ 九条河原町 ▶ 四条河原町 ▶ 河原町今出川 ▶ 洛北高校前

中循環バス路線 (東西ルート)

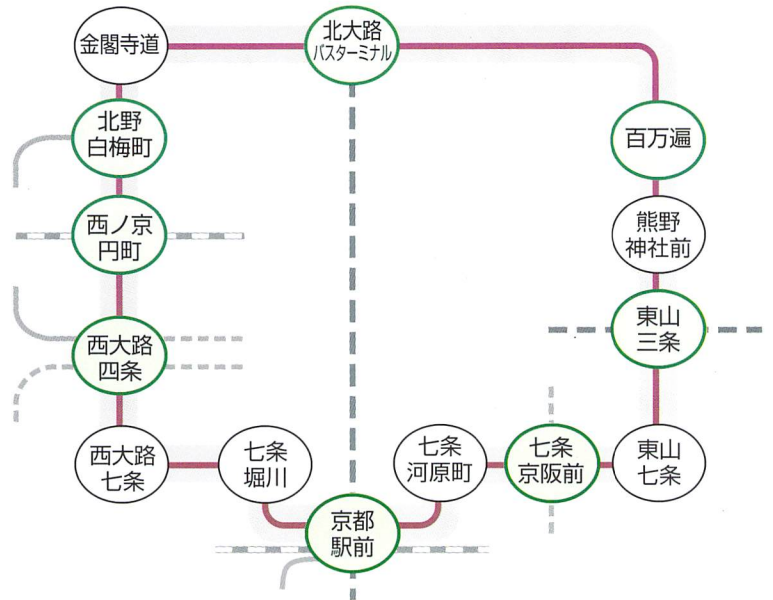
- 北山通 ▶ 千本通 ▶ 北大路通 ▶ 白川通 (現北8系統)
- 北大路通 ▶ 西大路通 ▶ 今出川通 ▶ 東大路通
- 今出川通 ▶ 西大路通 ▶ 丸太町通 ▶ 白川通
- 丸太町通 ▶ 西大路通 ▶ 四条通 ▶ 東大路通
- 四条通 ▶ 西大路通 ▶ 七条通 ▶ 東大路通
- 七条通 ▶ 西大路通 ▶ 九条通 ▶ 東大路通 ▶ 七条通 ▶ 塩小路通 ▶ 京都駅前 ▶ 塩小路通 (現208系統)

※ 五条通を走る現80系統はこれまでどおり運行

大循環バス路線

(現 205系統・206系統の変形)

京都駅前 ▶ 塩小路通 ▶ 七条河原町 ▶ 七条京阪前 ▶ 東山七条 ▶ 東山三条 ▶ 熊野神社前 ▶ 百万遍 ▶ 北大路バスターミナル ▶ 金閣寺道 ▶ 北野白梅町 ▶ 西ノ京円町 ▶ 西大路四条(西院) ▶ 西大路七条 ▶ 七条堀川 ▶ 塩小路通 ▶ 京都駅前



提言 3 市街地周辺部におけるコミュニティバスの導入

上記、循環バス路線の新設に際しては、各乗り換えターミナルに結節する郊外循環路線バスとして、新たに通常の路線バスとは異なる親しみやすいデザインの中型バスを導入し、コミュニティバスとして運行する。
※当該地域の既設バス路線もコミュニティバス化を図る。

コミュニティバス運行の対象地域例



提言 4 循環バスには無公害型、低床式のカラーバスを採用

「小循環」、「中循環」、「大循環」の路線バスの新設に際しては、まず誰もが一目で行き先がわかるように、それぞれ色の異なったカラーバスを導入する。また、

この循環バスについては、高齢者および身障者にも使いやすい、環境にもやさしい低床式の無公害車輛に順次切り替える。

提言 5 循環バスに関する格安・均一料金の設定

循環バスの料金については、以下の視点から「小循環」、「中循環」、「大循環」バス路線ごとに均一の料金を設定する。乗り換えを要する利用者に対しては、現行の所要運賃を上まわらないよう十分に配慮する。特に循環バスについては、料金を格安に抑える。

料金設定の視点

(1) 乗り換えによる運賃負担増を少なくすることにより、市民ならびに来訪者が京都市内の公共交通機関を利用しやすくする。

(2) この市内公共交通機関の利用促進は、ある意味で利用者への行政サービスであり、こころづかいでもある。公共交通機関の利用度が高まれば、結果としてマイカーからの乗り換えが進展し、市内交通の渋滞緩和と京都のイメージアップにも繋がることになる。

(3) 複雑多岐にわたるバス路線網の再編・整理と簡略化、ならびに循環バス料金の設定問題については、京都の観光政策を含む「総合的都市戦略」の視点において考えることが肝要である。

提言 6 市バスの乗り換えターミナルとバス停留所の整備

地下鉄ならびにJR、私鉄各線と循環バスが結節する乗り換えターミナルについては、海外からの来訪者にもわかりやすい親切な案内をこころがける。中でも案内板については、利用者が「目的地へ行くにはどのバスに乗ればよいのか」、「そのバス停はどこにあるの

か」が一目でわかるような総合的な案内板を目につきやすい場所に設置する。また、利用者にとって楽しくこころよい空間となるよう、例えば他の大都市で導入されている動く歩道やシースルー・エレベーター等を整備することも検討すべきである。

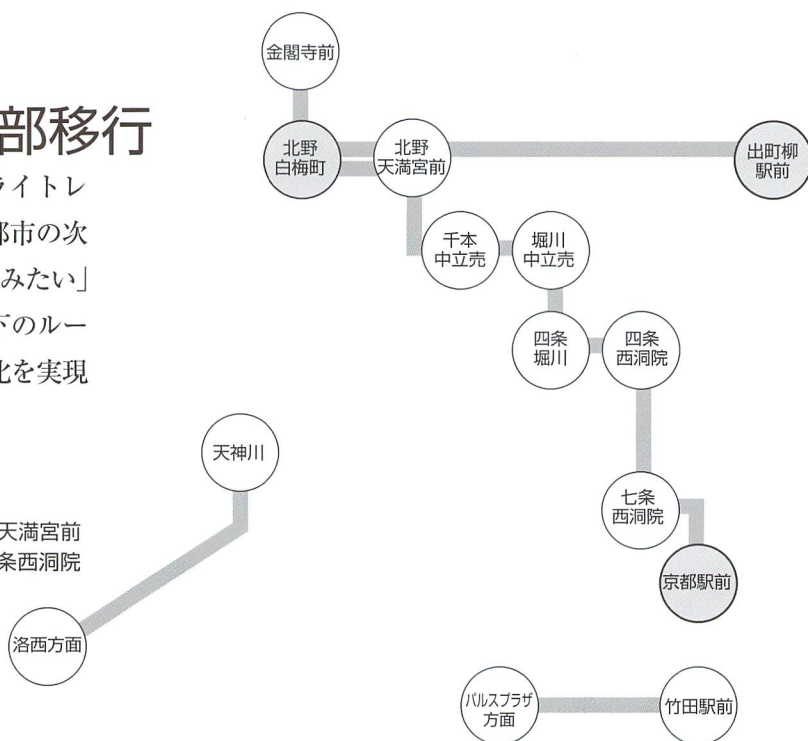
追記事項 路面電車導入と「敬老者乗車証」発行制度の見直し

以上、私ども京都経済同友会としては、市バスの運行形態と路線網の整理・再編に絞って提言するものであるが、この提言に関わる近い将来の解決すべき課題として次の2点を追記するものである。

追記 1 循環バス路線の路面電車への一部移行

21世紀の都市交通システムとしてLRT(ライトレイル・トランジット)が注目されている。京都市の次期基本計画の中でも「市電復活の内容も盛り込みたい」との考えが明らかにされているが、中でも以下のルートについてはできるだけ早い時期に路面電車化を実現すべきである。

- 京阪出町柳駅 ▶ 京福北野白梅町駅
- 高度集積地区(地下鉄 ▶ パルスプラザ方面)
- 金閣寺前 ▶ 西大路通 ▶ 北野白梅町 ▶ 今出川通 ▶ 北野天満宮前 ▶ 中立売通 ▶ 千本中立売 ▶ 堀川中立売 ▶ 四条堀川 ▶ 四条西洞院 ▶ 七条西洞院 ▶ 塩小路通 ▶ 京都駅前(現50系統の変形)
- 地下鉄東西線西伸地区(天神川 ▶ 洛西方面)



追記 2 高齢者優遇の「敬老者乗車証(無料パス)」の見直しと有料化

京都市においては、現在70歳以上の高齢者優遇措置として「敬老者乗車証」を発行している。ただ、今日の少子・高齢化時代においてこれまで同様70歳以上の高齢者について特別視し、優遇措置を行うことが

是か否かは大きく意見が分かれるところである。京都市の財政状況等を考えた場合、現行の「敬老者乗車証」の発行については早急に見直しをし、適正な料金による有料化を検討するべきである。

京都・都市活性化委員会 名簿 (敬称略・委員は50音順)

委員長

平井 義久 (株)京つけもの西利 代表取締役社長

副委員長

三輪 泰司 ○ (株)地域計画建築研究所 取締役会長

上村 多恵子 (株)京南倉庫(株) 代表取締役社長

担当幹事

園 章 (株)園建築事務所 代表取締役社長

橋本 和良 (株)傳來工房 代表取締役社長

樋口 治 山中(株) 代表取締役社長

委員

浅井 國勝 (株)朝日堂 代表取締役社長

朝田 善三 近建ビル管理(株) 代表取締役社長

有本 嘉兵衛 有本(株) 代表取締役社長

石原 義正 (株)依屋吉富 代表取締役社長

市川 誠 市川甚商事(株) 代表取締役社長

伊東 宏 京都サンド(株) 代表取締役社長

上田 昇 上田商事(株) 代表取締役社長

上村 正文 竹菱電機(株) 顧問

内田 昌一 京都青果合同(株) 代表取締役社長

宇津崎 光代 (株)ミセスリビング住まいの総合研究所 代表取締役

大角 正幸 (株)大安 代表取締役社長

太田 伊右衛門 (株)洛西自動車 代表取締役社長

大藪 久雄 (株)増田組 代表取締役社長

岡田 佳明 (株)岡田 代表取締役社長

岡野 益巳 (株)岡野組 代表取締役社長

岡本 泰一 (株)いろは旅館 代表取締役社長

小川 邦夫 積水ハウス(株)京都支店 支店長

奥田 直幸 (株)丸保 代表取締役社長

奥田 正義 奥田正義公認会計士事務所 所長

角田 潤治 (株)豆政 代表取締役社長

加島 英一 (株)加島 代表取締役社長

勝見 昭 丸近証券(株) 代表取締役社長

河北 芳美 (株)トキヤ 代表取締役社長

川人 一郎 (株)川人象嵌 代表取締役社長

栗原 伸治 たけだ病院経営研究所 所長

黒川 正夫 (株)トーホー産研 代表取締役社長

小泉 幸夫 * 京都中央信用金庫 経営企画部部長

小松 良昭 戸田建設(株)京滋総合営業所 所長

小湊 壤 理研化学工業(株) 代表取締役社長

小宮山 俊朗 湖睦電機(株) 代表取締役社長

小森 一宏 (株)小森産業 代表取締役社長

小山 俊美 (株)久久小山園 専務取締役

佐伯 希彦 東邦電気産業(株) 代表取締役社長

澤田 宗吾 (株)家具のサワダ 代表取締役会長

澤野 茂治 澤基(株)澤野工務店 代表取締役社長

清水 輝久 編集工房 主宰

松風 定二 (株)松風 取締役相談役

高木 富士雄 (株)京都プラザ 相談役

田澤 秀幸 * 京都中央信用金庫西院支店 支店長

武村 銀一 京都ブライトンホテル(株) 代表取締役社長

玉置 辰次 (株)半兵衛麩 代表取締役社長

津田 純一 (株)井筒ハツ橋本舗 代表取締役社長

津田 武雄 津田電線(株) 相談役

富田 實 金下建設(株) 取締役副社長

鳥居 興彦 (株)シエイアル西日本総合ビルサービス 代表取締役社長

西垣 功 (株)フーズネット 代表取締役社長

西村 俊雄 スター(株) 代表取締役社長

西村 勝 柵家(株) 代表取締役社長

西脇 一雄 日新工藝(株) 代表取締役会長

野村 透 京都リサーチパーク(株) 顧問

柳場 英男 (株)中村設計 代表取締役社長

橋本 昇 * (株)傳來工房 専務取締役

長谷 幹雄 長谷(株) 代表取締役社長

畑 正高 (株)松栄堂 代表取締役社長

八軒 敏夫 (株)都ホテル 代表取締役社長

菱田 昌則 (株)京都センチュリーホテル 代表取締役社長

平岡 弘行 大洋実業(株)ホテルニュー京都 専務取締役総支配人

福井 正憲 (株)福寿園 代表取締役社長

福嶋 洋 * 京都中央信用金庫紫野支店 支店長

福永 晃三 (株)フクナガ 代表取締役社長

藤原 敏治 イワモトエンジニアリング(株) 代表取締役社長

布施 大策 布施税理士事務所 税理士

古川 元治 (株)菱健 代表取締役社長

古川 隆三 (株)渡月亭 代表取締役社長

細見 吉郎 宝酒造(株) 代表取締役会長

堀場 雅夫 (株)堀場製作所 取締役会長

本多 保博 (株)FPクリエーション 代表取締役社長

前川 啓二 前川化学工業(株) 代表取締役社長

前田 豊三郎 (株)マエダ 代表取締役社長

牧草 弘師 牧草コンサルタンツ(株) 代表取締役社長

松村 哲治 (社)京都産業会館 専務理事

宮崎 虎一郎 ニシムラ(株) 代表取締役会長

村瀬 昭夫 (株)綾部ときめきランド企画 専務取締役

室田 裕司 (株)内藤建築事務所 相談役

森 修 (株)イトーキ 京都支店 支店長

森 正廣 六和証券(株) 代表取締役副社長

矢野 進 アイフル(株) 顧問

山内 信輝 (株)灰孝本店 取締役副社長

山仲 修矢 (株)山仲工業所 代表取締役社長

山本 康弘 トウジ工業(株) 代表取締役社長

矢本 京子 (株)空 代表取締役社長

吉田 幸次郎 (株)美濃幸 代表取締役社長

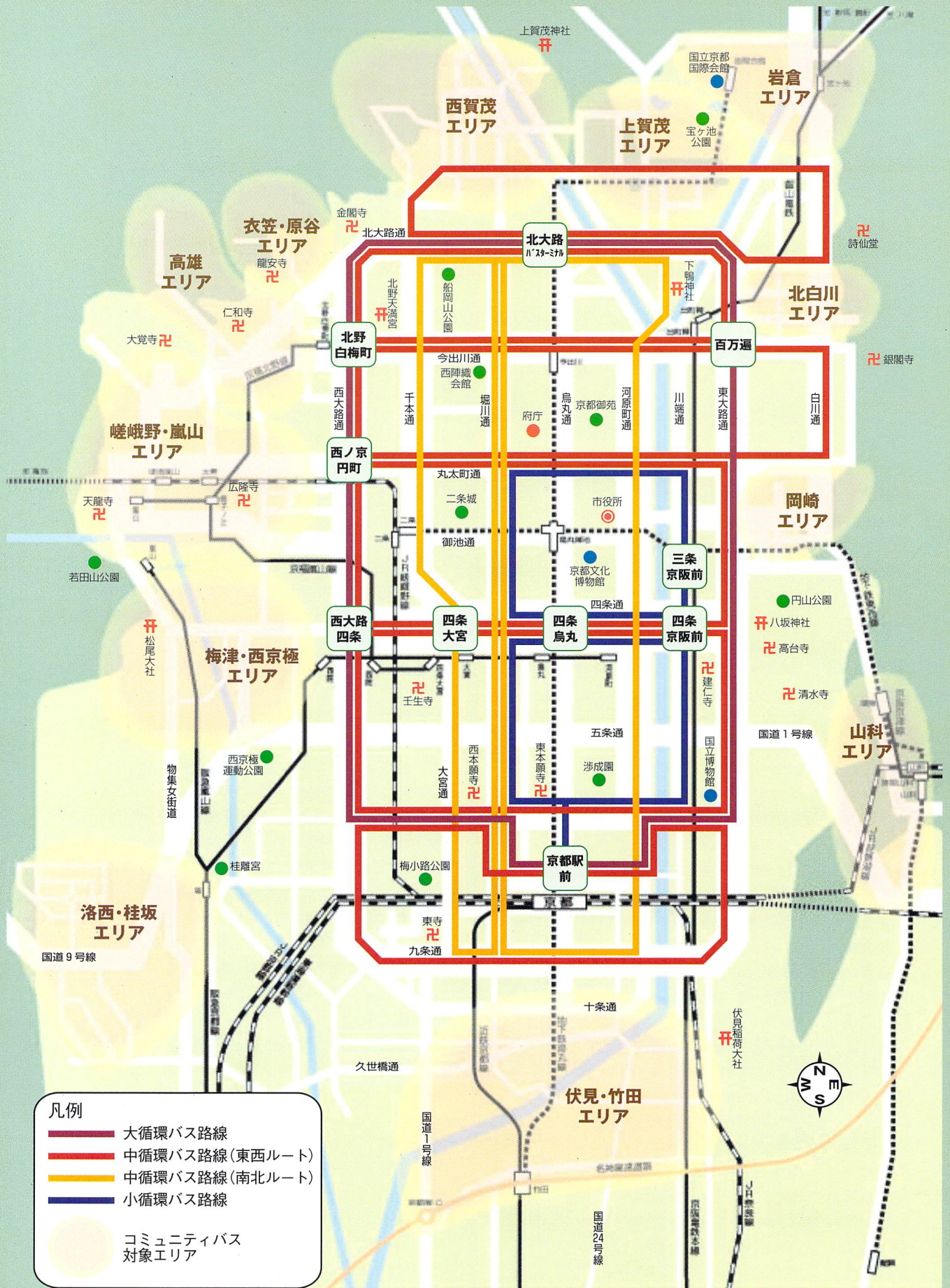
○印はアドバイザー *印は準会員

事務局

藤本 圭司 (社)京都経済同友会 常任幹事事務局長

松岡 輝 (社)京都経済同友会 次長

盛重 まり子 (社)京都経済同友会 事務局員



凡例

- 大循環バス路線
- 中循環バス路線(東西ルート)
- 中循環バス路線(南北ルート)
- 小循環バス路線
- コミュニティバス対象エリア

京都の公共交通体系への提言

地下鉄、JR・私鉄と市バスの有機的結節を目指して

平成13年1月発行

編集・発行

社団法人 京都経済同友会
 京都・都市活性化委員会
 京都市中京区烏丸通夷川上ル
 京都商工会議所ビル5階 〒604-0862
 Tel 075-222-0881(代) Fax 075-222-0883
 E-mail: kyotodoyukai@nifty.com

印刷

市蔵図書印刷